

② ふれあい囲碁® を活用した地域づくり 人づくり事業

ふれあい囲碁は、勝ち負けを競うものではなく、人との関わり方を体験できるものです。非言語コミュニケーションのため、年齢、性別、言語の壁もなくだれもが一緒に参加できることが一番の魅力で、当団体の活動のベースになっているプログラムです。



今年度は秋ごろから、「ふれあい囲碁®」のご依頼もあり、多世代とふれあい囲碁®を楽しむ機会が増えました。コロナ禍を経て、久しぶりの活動に私たちもうれしい限りです。

実施内容

- フリースクール訪問(大分市/フューチャーCプロジェクト)
- 高齢者サロン訪問(大分市馬場地区)
- 大分市民館連盟 地区公民館・校区公民館の職員対象(大分市 東部公民館)
- 府内ハロウィンイベント参加(大分市府内五番街商店街)

③ 中間支援事業

地域の課題解決のためには、NPOと企業、行政など多様な主体の相互理解が必要です。違うセクターの間に立って、コーディネート等を行いました。また、今年度は行政職員の方のNPO現場体験の受け入れなど、NPO活動の現場を伝える活動も行いました。

実施内容

- 「企業のNPO現場体験活動」受入れ
九州労働金庫 大分県本部 (大分市)
- 「大分県及び市町村職員NPO現場体験研修～飛び出せ公務員プロジェクト～」受入れ
大分県 福祉保健部
- 令和4年度 大分県 NPO 法人等人権相談活動支援事業
(大分県生活環境部人権尊重・部落差別解消推進課)
・動画作成、ホームページ掲載(対象:視覚障がい者)
- 令和4年度赤い羽根共同募金
地域に密着した多様な生活支援活動を応援する助成事業
・大分県在住外国人のための相談窓口紹介リーフレット作成
- 豊和銀行「NPO 団体への助成金制度」
・「医療的ケアが必要な子どもといるご家庭の支援」制作
(対象:在宅医療的ケア児者の家庭)



- 【相談業務】 年間112件
- 【委員等】 大分県 「安心・活力・発展プラン2015」推進委員会 委員
大分市 行政評価・行政改革推進委員会 委員
(公財)おおいた共創基金 CSR活動とNPO活動の連携推進委員会 委員
NPO運営アドバイザー
大分県ボランティア市民活動センター運営委員会 委員 他

「企業のNPO現場体験活動」受入れの内容が大分合同新聞 全面広告に掲載されました。



2022年度WAM助成 地域ひとネット報告書

～406から広がる「おおいた・いとでんわシステム」体制づくり事業～

私たちは、人と人との関わりの中で生きており、人との関係がうまくいかないときに疎外感や生きにくさを覚えて悩んだり軋轢が生じたりします。これまでの活動の中で、多くの人が「生きにくさ」を感じる社会にあって、みんな「ありのままの自分として生きる」ことを求めているという声を聴いてきました。年齢や性別、障がいの有無や国籍の違いなどの垣根を越えて、コミュニケーションを促進し、「ささえあって一緒に生きていく」社会をつくっていくことが私達のビジョンです。

- ① 要配慮者支援事業「おおいた・いとでんわプロジェクト」
- ② ふれあい囲碁® を活用した地域づくり 人づくり事業
- ③ 中間支援事業



要配慮者支援事業



ふれあい囲碁



中間支援事業

事務局  特定非営利活動法人 **地域ひとネット**

特定非営利活動法人 地域ひとネット
〒870-0021
大分県大分市府内町2丁目2-1 名店ビル406

<http://chiikihito-net.com>

【電話】 097-547-2424
【携帯】 080-9092-5534 (担当: 谷川、野尻、安東)
【メール】 info@chiiki-hito.net

プログラムの詳細は
ウェブサイトに掲載しています
<https://oita-itodenwa.com>



この事業は独立行政法人福祉医療機構 社会福祉振興助成事業 WAM助成にて実施しています。

特定非営利活動法人 **地域ひとネット**

1 要配慮者支援事業「おおいた・いとでんわプロジェクト」

災害時の要配慮者(高齢者・障がい者・乳幼児家庭等)の後方支援「おおいた・いとでんわプロジェクト」を実施しています。支え合いのはじまりの一步はお互いを知ることから。今年度は、必要物資や避難方法について知る・学ぶ・体験する「防災アラカルト講座」を企画、開催しました。

実施内容

- 1-1. システム運用人材育成研修会の開催「防災アラカルト講座」(参加者数 のべ475人)
- 1-2. 拠点の開設(別府市・津久見市・日田市)
- 1-3. 拠点要員育成
- 1-4. 情報共有のルールや協働のコミュニケーション(訪問件数89件)
- 1-5. いとでんわシステム運用マニュアル作成
- 1-6. 災害時要配慮者のいとでんわシステムへの事前登録者サポート



災害時に届きにくい小さな声をつなぐ、要配慮者のための防災プラットフォーム

結び手紹介(協力団体等)

結び手とは、地域のキーパーソンです。災害時の支援は現地だけではなく、離れていてもできることがたくさんあります。それぞれの地域団体が「できる範囲で、得意なこと」を役割分担することが大事だと考えています

【企業】

サイクルショップコダマ(大分市)
近江屋(大分市)
有限会社モリムラ寝装(大分市)
民芸の店 ふんさ(大分市)
靴のカガシヤ(大分市)
岩尾文具店(大分市)
グリーンコープ生活協同組合おおいた(大分市)
このみの空企業組合(大分市)
株式会社 森フォレスト デサキ大分わさだ店・デサキ熊本菊陽店(大分市)
合資会社 将口ふとん店(日田市)
株式会社 結笑住建(別府市)
ママのままプロジェクト(大分市)
株式会社 たかせao(津久見市)
ジョカフィールド大分フットサルコート(大分市)
那木家具/インテリアフェスタ(大分市・佐伯市)

明石文昭堂(別府市)
レストハウスやの助産院
大分まちなか倶楽部
有限会社 大分タキ
株式会社プロバインド
株式会社大織
漢方サロン みちかけ堂
ミカミ美容合同会社(大分市)
暮+建築設計(中津市)
有限会社こいきや(大分市)
産前産後ケアサロンtiti(大分市)
株式会社アンタエ
一般社団法人e-blossom
株式会社関屋リゾート
ほか1社(津久見市)

【商工会・商工会議所】

大分商工会議所(大分市)
中津商工会議所(中津市)
佐伯商工会議所(佐伯市)
豊後高田商工会議所(豊後高田市)
日田市商店街連合会(日田市)
宇佐商工会議所(宇佐市)
ほか1団体(県内)

【NPO・市民団体】

チャイルドラインおおいた(大分市)
NPO法人 アンジュママン(豊後高田市)
NPO法人 Teto Company(竹田市)
NPO法人 リエラ(日田市)
Clear Lun ダンスセラピー(大分市)
ダブルケア大分県しましまかふえ(大分市)
ネコサファリ(別府市)
予防カフェ(大分市)
ママの働き方応援隊 大分校(大分市・別府市)
NPO法人 ゆめネットワーク
個人登録の方11名
※個人登録の方はお名前は人数のみ掲載

【医療・福祉団体】

公益社団法人 大分県薬剤師会

おおいた・いとでんわプロジェクトの結び手はゆるやかなネットワークでつながっています。

令和5年3月末時点 合計48団体、個人11名

体験する どんなことに困るのか、体験を通じて知る。

ホテル滞在時の避難考える 要配慮者の立場を体験

別府、従業員や学生ら



床に線を引き階段に昇立、要配慮者の避難訓練をする参加者=別府市のホテルニューツルタ

【別府】災害時の要配慮者支援について学ぶ防災講座が9日、別府市北浜のホテルニューツルタで開かれた。市内内外から防災に関心のある約70人が参加、ホテル滞在時の避難を想定し、災害時の自助や他助について考えた。要配慮者の防災支援を手がける「おおいた・いとでんわプロジェクト」(会川真奈代表、事務局・公分区)が別府、大分両市を主会場として開く「アラカルト防災講座」シリーズの一環。

講演では大分大減災・復興デザイン教育研究センターの鶴成悦久センター長が「災害時の避難誘導の仕方」を話し、ホテルニューツルタのスタッフが、ホテルスタッフの方には要配慮者への声かけや避難誘導の仕方を学びました。

第1部【講話】大分大学減災・復興デザイン教育研究センター「別府市で想定される災害について」センター長 鶴成悦久教授「災害で生き抜く力を養う」防災コーディネーター 板井幸則氏「自然災害時の避難所における健康危機管理」福祉健康科学部 徳丸治教授

第2部【紹介】おおいた・いとでんわプロジェクト事業紹介/結び手紹介

第3部【避難訓練】

【1】災害時の現状と課題
【2】災害時要配慮者への避難方法
【3】避難訓練を通じてのグループワーク

会場：ホテルニューツルタ(別府市)
日時：2022.12.9
共催：大分大学減災・復興デザイン教育研究センター
<メディア取材>
NHK 大分放送局、テレビ大分、大分朝日放送、CTBメディア、大分合同新聞社、毎日新聞社別府支局

2022年12月29日(木) 大分合同新聞 朝刊に掲載



ホテル避難を利用した 災害時要配慮者避難訓練

参加者はゴーグルや妊婦ジャケットを着用し、災害時に支援が必要となる方の目線での避難を体験しました。ホテルスタッフの方は要配慮者への声かけや避難誘導の仕方を学びました。

第1部【講話】大分大学減災・復興デザイン教育研究センター「別府市で想定される災害について」センター長 鶴成悦久教授「災害で生き抜く力を養う」防災コーディネーター 板井幸則氏「自然災害時の避難所における健康危機管理」福祉健康科学部 徳丸治教授

第2部【紹介】おおいた・いとでんわプロジェクト事業紹介/結び手紹介

第3部【避難訓練】

【1】災害時の現状と課題
【2】災害時要配慮者への避難方法
【3】避難訓練を通じてのグループワーク

会場：ホテルニューツルタ(別府市)
日時：2022.12.9
共催：大分大学減災・復興デザイン教育研究センター
<メディア取材>
NHK 大分放送局、テレビ大分、大分朝日放送、CTBメディア、大分合同新聞社、毎日新聞社別府支局

学ぶ 専門家とつながる 大分県内の専門家や団体と連携し、知見を伝える講座を開催。



気象情報の見方「キキクル」でチェック!

講師：大分地方気象台 地域防災官 松園修一氏
会場：自立支援センターおおいた(別府市)
日時：2022.7.27(参加者数：8名)



介護福祉士×障がい当事者 ぶっちゃけワークショップ

共催：(一社)大分県介護福祉士会
NPO法人 自立支援センターおおいた
会場：別府市中央公民館(別府市)
日時：2022.11.11(参加者数：35名)

まちなか防災ワークショップ「事例から学ぶ防災」

講師：宮城県仙台市若林区荒町商店街振興組合 庄子康一氏
熊本県熊本市上通り商店街 面木健氏

コーディネーター：別府市防災局 防災推進専門員 村野淳子氏
協力：大分市府内五番街商店街振興組合

会場：府内五番街商店街 H.W.L cafe&works(大分市)
日時：2022.9.14(参加者数：30名/アンケート：14回答)



庄子康一氏



面木健氏

参加者の声

- ・防災について、商店街や地域の方と意見交換ができた。
- ・様々な職種、年齢、境遇の方の立場で話が聞けた。
- ・継続していくことが必要と感じた。次は商店街の中で炊き出しをしてみたい

すぐに実践できる防災・乳幼児編

講師：レストハウスやの助産院 協力：ママの働き方応援隊 大分校

会場：光の園児童館(別府市)
日時：2022.9.22(参加者数：10名/アンケート：8回答)



参加者の声

- ・災害が来る前提で家族と情報共有しようと思った。
- ・日頃からご近所さんとの関わりを増やすことの重要性を感じた。

知る 当事者どうしがつながる 当事者の声や現状を伝える場をもうけました。



第42回大分県障がい者・児 「秋の交歓会」ブース出展

主催：大分県障害者社会参加推進協議会
会場：大分いこいの道広場(大分市)
日時：2022.10.15
(参加者数：100名/アンケート：68回答)



第6回おおいたNPO博 ブース出展

主催：大分市 協力：大分地方気象台
会場：お部屋ラボ祝祭の広場(大分市)
日時：2022.11.20
(参加者数：200名/アンケート：161回答)



平常時から 顔の見える関係を作ろう

今年度の振り返り・来年度の取り組みにむけて
会場：自立支援センターおおいた(別府市)
日時：2023.3.15

在宅医療ケア児者/ダブルケアラーの必要な支援

講師：在宅医療ケア児者の親子サークル「ここから」代表 安藤歩氏
ダブルケア大分県しましまかふえ 代表 佐藤智子氏 副代表 山科美佐子氏

会場：J:COM ホルトホール大分408会議室(大分市)
日時：2022.11.22(参加者数：20名/アンケート：18回答)

参加者の声

- ・当事者の方の普段の生活や活動内容を詳しく知ることができた。
- ・自分もかつてダブルケアラーだった。助け合える社会になるとよい。

協力

大分県、(社福)大分県社会福祉協議会、大分地方気象台、大分大学減災・復興デザイン教育研究センター、(一社)大分県介護福祉士会
NPO法人自立支援センターおおいた、EGO、パラボラ舎

(※掲載の団体、個人等はすべて敬称略)